

平成29年11月5日  
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 三苦三球会戦  
三回表、三友クラブ四番山崎選手の逆転満塁HRが炸裂！  
写真：奈多クラブ 今林 賢人

**青松園B ライナーズ投打で圧倒！**

ソルトベスターズ（2勝9敗2分） 1 0 0 0 0      1      中村（耕） ●—酒井

雁の巣ライナーズ      （8勝5敗） 3 4 6 0 ×      1 3      有馬○—明瀬（航）

**HR**：今林（颯）、宇野（雁の巣） **3HB**：真弓（ソルト）、明瀬（旭）、中口（雁の巣）

**2HB**：今林（颯）（雁の巣）

両チーム共に今季最終戦となったこの試合は、ソルトベスターズ中村（耕）投手、ライナーズ有馬投手の先発でスタートした。一回表のソルトベスターズの攻撃。二死から三番真弓選手の三塁打でチャンスを作ると、続く四番酒井選手がうまく右中間へ運び、幸先よく1点を先制する！しかし先取点を取られたライナーズはその裏すぐさま反撃に出る。二番今林（颯）選手が二塁打で出塁すると、三、四番がしっかりと四球を選び、一死満塁のチャンスを作る。この場面で五番久保田選手がライト前ヒットを放ち、2者生還し逆転に成功する。これで勢いに乗ったライナーズ打線が爆発！二回に今林（颯）選手、三回には宇野選手のホームランが飛び出し、終わってみれば5本の長打を含む12安打13得点の猛攻でソルトベスターズを圧倒した。投げては先発有馬投手が初回こそ1点を失ったものも二回以降は1安打も許さない完璧な投球とライナーズの堅い守備で2安打完投勝利！ソルトベスターズも最後まで諦めずくらくらくも、投打がかみ合ったライナーズが最終戦を勝利で飾った。（記事・写真 三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



ライナーズ先発の有馬投手。



ソルトベ이스ターズ先発の中村（耕）投手。



一回表、三塁打でチャンスを作ったソルト三番真弓選手。



一回表、先制タイムリーを放ったソルト四番酒井選手。



一回裏、逆転右前タイムリーのライナーズ五番久保田選手。



二回裏、代打で見事なタイムリーのライナーズ三船選手。



三回裏、HRを放ちガッツポーズの宇野選手。



この日3安打2打点の活躍、今林（颯）選手。



試合を終え、互いの検討を称えあう両監督。



活躍をみせた宇野選手、有馬投手、今林（颯）選手。

### 奈多グラウンド レッドサンデーズ打線が爆発するも・・・

ブルーマーリンズ（12敗） 00 0 横山（祥）●ー横山（健）

レッドサンデーズ（6勝7敗）111 x 12 塚本○ー荒口

HR：八島（レッド） 盗塁：川原、近藤、古賀、土田（レッド）

ブルーマーリンズの先行で始まった一回表、先頭の末松選手がショートのエラーで出塁すると、三番横山（健）選手のレフト前ヒットで一死二塁と先制のチャンスを作る。しかし、四番、五番が連続三振で先制のチャンスを逃してしまう。一方のレッドサンデーズは連続四球とワイルドピッチで一死二三塁のチャンスを作ると、四番八島選手がセンター前ヒットを放ち2点を先制する。後続も四球とエラーで得点を重ねていき、四番八島選手のこの日4打点目となる2ランでこの回11点をあげる。二回表、追い付きたいブルーマーリンズだったが、塚本投手の前に三者凡退に抑えられてしまう。二回裏、先頭打者を打ち取られてしまうが、土田選手が四球で出塁すると、盗塁とワイルドピッチで三塁まで進み、続く壱岐選手のセンター前ヒットで追加点をあげる。すると事件が起きてしまう。後続のレッドサンデーズの選手が放った強烈な打球が三塁手の顔面に当たり負傷してしまう。ブルーマーリンズは10人しかおらず、一回裏にも負傷者を出して交代していた為、話し合いの結果ここでゲームセットとなってしまった。（記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和）



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



ブルーマーリンズ先発の横山（祥）投手。



一回表、左前ヒットのブルーマーリンズ三番横山（健）選手。



一回裏、見事なHRでホームインするレッド四番八島選手。



まさかの幕切れでゲーム終了の挨拶。



二回裏途中で終了のスコアボード。

### 青松園A 四番山崎選手の満塁ホームランで三友クラブ勝利！

三友クラブ（6勝5敗1分） 10430 8 足立○、久岡一中内

三苦三球会（6勝6敗） 11002 4 吉留●-藤澤

HR：山崎（三友ク） 2BH：木村（三友ク）

一回表、三友クラブは一番坂本選手が四球で出塁。盗塁などで三塁まで進み、三番平田選手のレフト前ヒットで先制。その裏、三球会は一上村選手がヒットと盗塁を決め、二番藤澤選手のライト前タイムリーで同点に追いつく。二回裏、三球会は三友クラブのミスをついてランナーを出し、バッテリーエラーで1点を追加し逆転。三回表、三友クラブ先頭打者一番坂本選手がセンター前ヒット。その後、四球と内野安打で満塁のビッグチャンス！ここで四番山崎選手がレフト線ギリギリに走者一掃の逆転満塁HRを放つ。三回裏、三球会は一死から四番半田選手、五番塚（太）のヒットと三友クラブのエラーで満塁のチャンス。しかし、後続が打ち取られ無得点。四回表、三友クラブもヒットとエラーで満塁とし、広瀬選手のセカンドへのフィルダースチョイスの間に1点。次の木村選手のレフトへの二塁打で3点追加。両チームともランナーを出したが、三友クラブは上手くランナーを返すことができたが、三球会はチャンスを作るもあと1本が出ず残塁が目立った。三球会は最終回粘りを見せるも、満塁HRでの失点が響き、粘り虚しく敗戦となった。（記事・写真：奈多クラブ 今林 賢人）



三球会先発の吉留投手。



三友クラブ先発の足立投手。



ショートゴロをさばく三球会大津選手。



バットの先！



三回表、三友クラブ四番山崎選手の満塁HR。



山崎選手の満塁HRをお出迎え。



見応えの対決。



三友クラブリリーフ久岡投手。



五回表、三球会堺太一選手が1点追加のホームイン。



三友クラブ勝利で試合終了挨拶。



三友クラブ イケメン選手達。

## 第24週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第24週、11月5日は3試合が行われました。

青松園Bのソルトベ이스ターズ対雁の巣ライナーズ戦は、初回2安打で先制点を挙げたソルトだったが、先週ノーヒットを達成したライナーズ有馬投手がそれ以降無安打に抑える。打線も今林颯汰選手、宇野選手のHRなどで12安打13得点を奪い1-13でライナーズの圧勝。ライナーズは13選手が出場するなど最終戦をみんなで戦った。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対レッドサンデーズ戦は、初回のピンチを無失点で切り抜けたレッドは、その裏に八島選手のHRを含む3安打ながら6四球8エラーなどで11点を取り早々に試合を決める。ブルーマーリンズはこの守備の間に友重遊撃手が負傷交代。続く二回裏、今度は浜崎三塁手への痛烈なゴロが奈多グラウ

ンド特有の朝日と被ったのか顔で受けてしまい負傷退場。これで人数が8人となってしまったブルーマーリンズから試合続行不能の申し入れがありここで試合終了。負傷者の一日も早い回復を願っています。

青松園Aの三友クラブ対三苦三球会戦は、1-2で迎えた三回表、三友クラブ四番山崎選手の満塁HRで逆転すると、四回表にもヒットとエラーで3点を奪い三球会を付け離し、8-4で勝利。三友クラブは一〜五番の17打席で13出塁と上位打線の出塁率の良さが目に付いた。

11月11日の運営会議で、レッド対ブルーマーリンズ戦の負傷退場による人数不足の取り扱いについて議論され、今回に関してはレッドサンデーズの不戦勝（勝ち点3）、ブルーマーリンズの不戦敗（-2）、選手の記録に関してはカウントされることで決着しました。今後に関しては、来年度の監督会議でもう一度話し合われます。

さて、日本シリーズは福岡ソフトバンクホークスが4勝2敗で横浜DeNAベイスターズを下し、2年ぶりの日本一の座を奪い返しました。

投手力、守備力、打力に関しても一枚上手でしたし、何といてもCSから日本シリーズの経験値が圧倒的にモノを言ったのではないのでしょうか？

また、怪我でシーズンをロクに戦えなかった選手がCSから戻って活躍したのも大きかった。

個人タイトルにしてもホークスの選手が圧倒的に目立ちました。

これは日本一になるべくしてなったと言っても過言ではないでしょう。